

平成 17 年 4 月 26 日(第 2 回知事定例記者会見) ※抜粋

この資料は、県政記者クラブとの会見内容を広報課でまとめたもののうち、馬頭最終処分場に関連する事項について抜粋したものです。

日時:平成 17 年 4 月 26 日(火曜日)午後 1 時 30 分から

場所:県庁特別会議室

(質疑事項)

6. 馬頭最終処分場について

(質疑事項)

6. 馬頭最終処分場について

記者:馬頭町の県営産廃処分場の関係で、明日、知事は現地で住民の方と意見交換会を開かれるということですが、この意見交換会に当たって、知事はどんな姿勢で臨まれるのか、お伺いします。

また、昨日、地元の反対をしている市民団体の方が、現地予定地内で貴重なハチの一種が見つかったということを発表されましたが、この件が今回の計画に影響を及ぼすのかどうか併せてお伺いします。

知事:平成 13 年度に実施しました適地性の判断のためのアセスメントでは、残念ながら、「ヒダクチナガハバチ」は発見されませんでしたので、今後約 1 年をかけて事業化のための環境アセスメントを実施していくことにしたいと思っております。なお、県版「レッドリスト」が平成 16 年度に策定されたわけですが、適地性判断のためのアセスメントは平成 13 年度ですから、当然、「レッドリスト」に記載されているものが存在するかどうかは突き合わせておりません。ですから、今度行う環境アセスメントでは、県版「レッドリスト」に記載のあるものも含めて、調査を綿密にやる形で臨んでいきたいと思っております。その後、こういった希少種がほかにもあるのかどうか確認した上で、その後の進め方について判断していきたいと思っております。

明日の説明会についてですが、町民どなたでも参加できる仕組みでの対話集会・説明会というのは私にとっては初めてでございますので、馬頭町の皆さんからの多くの意見をお聞きし

たいと思います。それは将来への危険性であったり、事業の際の様々な地域の環境問題であったりするかと思いますので、一つひとつよく耳を傾けて、誤解を解けるものについては県の考え方をはっきりと申し上げながら、中身のある意見交換にしたいと思っております。

記者:環境アセスメントの結果、今、選定されている地区を変更することもあり得るのでしょうか。

知事:今の時点で変更するとか、事業スケジュールに影響があるとか、そういうことはまだわかりません。あくまでも、これからやろうとする調査の中で、今日報道された「ヒダクチナガハバチ」も含めたほかの希少種もあるのかどうかを確認するというところでございます。また、このハバチにつきましても、林務部で国等への照会をしながら情報収集に努めているという段階でございますので、現時点で、処分場の予定地の変更やスケジュールの変更・見直しについて申し上げる段階にはないと思います。